

スポーツを通じた地域振興：総合性地域スポーツクラブの立場から

太田 敬介*

皆さんこんにちは、太田と申します。今日はこのような場を与えていただきましてありがとうございます。NPO 法人 SCC という法人の名前ですけども、スポーツコミュニケーションサークルという言葉の略です。大学を卒業した後、鹿児島市にあります企業の実業団の陸上部に入りまして走っていたんですけども、その陸上部が廃部になりまして、それがきっかけとなって自分がやってきたことは何だったんだろうとか、私達にとってスポーツというものは何なんだろうというようなことを思いを抱くことになりました。そして、日本のこのスポーツというのは学校スポーツ、企業スポーツというのが中心にあるわけですけども、それとは違う形の地域に根付いて自立した組織、そこにスポーツを通して様々な世代の方々が集い、コミュニティが生まれ、その輪がどんどん広がっていきますようにという思いを込めてスポーツコミュニケーションサークルという名前を付けました。鹿児島県鹿児島市に事務局を置き、鹿児島市の公共施設を使って教室等を使ってやっている総合型地域スポーツクラブです。平成12年に立ち上げて翌年にNPO 法人化をいたしました。現在スタッフはフルタイムで、私含めて3人、理事長、クラブマネージャー、サブマネージャーが有給として働いております。事務のパートが2人おまして、2人で大体1人分のような感じでやっております。あと現場で、教室等で指導するコーチングスタッフが、これも全員有給でやっておりますが25名程おります。スポーツはLike・Love・Lifeという理念を掲げておりまして、種子島に住んでいるプロフェッサーの方がサーフィンがライクからラブになってライフになったというコメントを読みまして、とてもいい言葉だなと思って、それをうちの理念としてやっております。スポーツはこうあるべきというものではなくて、スポーツは好きとか見るのが好きとか応援するのが好きとか、いや大好きとか、そういうのを通していろんな方のスポーツとの関わりを自分の人生の中に取り込んでいただいて、スポーツを通じた素晴らしい豊かな人生を送る場

を私達がデザインをすると、そういう意味合いでございます。

現在の事業内容ですが、1つはこの総合型地域スポーツクラブの運営事業、もう1つはスポーツイベントの開催事業、3つ目がスポーツ指導者の派遣事業と大きく3つ柱を立てて事業をやっておりますが、1番ベースにあるのは総合型地域スポーツクラブの運営事業です。現在会員数が690名おります。種目数が少ないんですけども、陸上競技、サッカー、健康体操、幼児体操の4種目でやっております。総合型の中でもサッカーのクラブがベースになって総合型になったところがいくつかあるんですけども、その陸上競技版と考えていただければいいと思います。陸上競技の中でも総合型陸上競技クラブといって、ここが1番メインになるんですけども、下が6歳、上はもう80歳ぐらいの方まで幅広い世代の方が会員としてご登録いただいております。この690名のうち570～580名がこの陸上競技の教室の会員さんになります。その他の種目としてサッカーや健康体操教室、幼児体操教室もやっております。会費の設定も細かく色々あるんですけども、おおよそ個人の会員さんが月3,150円、家族会員ということで1家族であれば6,300円。但し一緒に住んでることという条件を付けています。今ご説明しました総合型の陸上競技クラブ。ここで今400名程会員がいるんですけども、1回の練習では多い時で170、180名参加があります。それは一度に練習するのではなくて、いくつかのブロックに分けて練習をしてるんですけども、小学生のグループで80、90人います。これも低学年高学年に分けたり、この中もまた3つ4つに分けて練習をしています。中学生以上は、アスリートのブロックということで主に短距離でやっています。部活動の連携はどうなってるということをよく聞かれるんですけど、勿論、学校に陸上部がないからここに通ってるという子もいますし、学校に陸上部はあるけど専門の指導者がいなくて、ここに練習に来てるという子もいます。学校に陸上部があって専門の指導者もいるけども、

*NPO 法人 SCC 理事長

ここにも練習に来てるといふ子もいます。学校では吹奏楽部とか合唱部に入ってるけども、体を動かすのが好きという子が練習に来たり、そのあたりは様々です。ランニングのブロックでは、ウォーキングを主体とした健康志向の方から、フルマラソンで3時間切りを目指す人とか、それもレベルも様々なんですけども、一緒に練習をしています。ジュニアの陸上競技スクールということもやってるんですけども、総合型の陸上競技クラブというのを1番最初に立ち上げてやってきて、小学生は鹿児島ですから保護者の送り迎えというのがどうしても付いて回る。行かせたいんだけど、会員になりたいんだけど子供の送り迎えができないという声をたくさん聞くようになりまして、じゃあ小学生だけ鴨池運動公園とは別の所で教室をやりましょうということで、今市内2ヶ所で小学生のみの陸上競技教室をやっています。鹿児島市の中山というところにある運動施設でやっています。健康体操教室では、スロープレート、ストレッチボールの教室をやっています。これも民間の公共施設でやっています。2番目の事業なんですけれども、スポーツのイベントを年間を通していくつかやっています。これも一風変わったと言いますか、あまり耳慣れないイベントをよくやってるんですけども、先程いぶすき菜の花マラソンの紹介がありましたけど、長距離の市民参加型のイベントというのはたくさんありますが、短距離版の市民参加型のイベントってなかなかない。ところが50m走ってほとんどの人が1回は走ったことがあるわけです。いろんな方の共通項になる種目じゃないかなということで、50mのみのイベントをやっています。最初この企画を立ち上げた時に、参加費1,500円なんて集まるわけないということで大反対を受けたんですけど、200人ちょっといつも集まって、かけっこ大好きな下は1歳から。参加条件が50mを60秒以内に走れることという参加条件なんですけど、1歳ぐらいの子がたまに1分以上かかってしまうんですけど、大方1分以内に走れます。こういうイベントやっています。

今春に運動会やる所たくさんあるんですけど、運動会で言えばやはり秋ということで、夏休みにかけっこ練習をしようということで夏休みに小学生を集めてかけっこ塾というのをやっています。かけっこ得意な子も来るんですけど、私としてはやはりかけっこが苦手な子にそのコンプレックスをとってほしくて、かけっこが苦手という気持ちを持った子がそこから他のスポー

ツをするにしても、スポーツ好きな子になっていくかというところではないというところがありますので、ほんとにこの小さい頃にかけるこに対してネガティブな気持ちを持つことなく、前向きな気持ちを持ってほしいと思って毎年やっています。夏は運動会のかけっこ塾で冬は持久走大会がありますので、これも持久走嫌いたくさん子供達いるんですけど、その子達にそんな無理矢理走らなくても体を動かすことって楽しいし、そういうことの積み重ねがやはり持久走とかも速くなることなんだよというような、教室としてはいろんなテクニク的なこととかも話をするんですけど、やはり気持ちの部分の子供達に変えてほしくてやっています。

3番目なんですけども、スポーツ指導者の派遣事業ということで、いろんなところから指導者を派遣してくれということで依頼がきます。その他としまして、鹿児島の有名な夏のイベントですけども桜島錦江湾横断大会というのがありますが、その事務局をずっと務めております。それから、文部科学省の拠点クラブ事業という昨年度から始まった事業なんですけども、1年目から受託をして取り組まさせていただいております。この拠点クラブ事業には3本の柱があるんですけども、1つ目が小学校の体育授業総合型地域スポーツクラブからスタッフを出して、先生と一緒に授業をする。体育を教えるのが得意な先生もいらっしゃるんですけども、そうではない先生方のサポート、またお手本を見せる係なんかをやりながらやっているというところ。拠点クラブ事業の2番目の柱がトップアスリート地域スポーツ団体に派遣しようということで、このトップアスリートの規定というのも色々あるんですけども、その専門の知識技能を活かしながら、総合型地域スポーツクラブからよその総合型地域スポーツクラブとか学校活動とかそういう地域の少年団とかそういうところにトップアスリートを派遣しているという形です。拠点クラブ事業の3つ目の柱なんですけども、スポーツを通して地域の課題を解決してほしいということでお題が出されておまして、私共の離島の方にどんどんそういう子供達にスポーツする機会を作ろうとか、スポーツを通してちょっと引きこもりとかそういう精神的なあれがある方にスポーツをする機会を与えようとか、スポーツを通して他世代間の交流をする活動とかそういうことに取り組んでいます。これは与論島というところで陸上教室をやっ

た時の写真です。非常に子供達の表情も豊かでグラウンドの奥に青い海が見えて、でも良い環境で良い教室ができました。

このクラブを立ち上げて13年経ちましたけれども、1番のペースはたくさんの人にスポーツをしたいと思う人にスポーツができる場をデザインしていきたいという思いできたんですけれども、自然発生的というかそこを目指したわけではないんですけど、やはり強い選手、競技力のある選手というのもどんどん育ててまして、左は沖縄インターハイで100mで2番でした。これはもう今筑波大学に進学をしておりますが、もう私のレベルを超えていってくれるだろうと思っております。上原美幸選手って最近都道府県対抗女子駅伝の1区でオリンピック選手に勝ってしまったという高校2年生なんですけれども、私が選手としてやってきて実業団の廃部ということでその場がなくなってしまって、オリンピックとか世界陸上とか行きたいなと思って夢を追いかけてやって来たんですけれども、その夢叶わずに終わったわけなんですけれども、こうやって私の夢を継いでくれるような選手が出てきてくれていることを嬉しく思っています。スタッフの研修もしっかりとシステムを作っているところなんです。

最後になりましたけど鹿屋体育大学との連携についてということで、どういうことがあるかなと思って、私なりにつつらと書いてみたんですけれども、学生インターンシップはこれまで数名受け入れておまして、非常に学生にとっても良い学びの場を提供できていると思っていますし、私共にとっても非常に助かっているところです。インターンに来てくれた子達とは本当にインターンシップ期間が終わっても、この前も就職が決まりましたという電話がきたりとか、非常に良い関係が築けております。私がこういう活動しておりますので、学生に話をする機会等々もあって、昨年度スポーツ指導論という講義で2回程呼んでいただきまして、その時も2回学生にスポーツ指導をする上でのポイントというか、私なりの視点ですけれども話をいたしました。今イベントを私共やっておりますので、私共非常に人手も不足している点はあるんですけれども、ちょっと変わったうちのようなイベントでなければ手伝いたいという学生がいれば、是非それは来ていただければ良い学び場を与えることができるのではないかなと思っております。うちもスタッフがいるんですけれども、鹿屋体育大学には素晴らしい先生方がた

くさんいらっしゃるの、東京とか大阪に行けばたくさんそういう指導者講習会とか実施されてるようなんですけれども、やはりこの鹿児島という地ではそういう機会がなかなかなくて、そういう体大の先生方が指導者講習会とかやられる機会があるのであれば、是非うちのスタッフも参加をさせたいなと思ってるところです。最後になりましたが、研究期間ということですので、そういう研究の対象として一応協力できることがあれば、それは全然是非協力をしたいと思っていますところなんです。以上で終わりにしたいと思います。ご清聴ありがとうございました。

コメント：先程ご紹介いただきました福島大学の黒須と申します。昨日鹿児島に到着しまして機内で17.5度という数値を聞いて、感覚として分かりませんでした。もう福島は1桁の下の方とかもうマイナスになったりしてる関係もありましたので、とても暖かいところに来られて本当に良かったと思っております。太田さんとはもうクラブが立ち上がる前ぐらいからの長い付き合いかと思いますが、こういった総合型クラブを生業として、職業としてやってる人が増えてきたなっていうのも、総合型にとって私は1つ重要なことではないかと思っております。そして総合型というものが地域に定着するためには、やはり太田さんのようなコーディネーターという言葉を使ってしまうんですけれども、例えば行政の人とも顔が繋がってる。地域スポーツ関係者、例えば競技団体とも顔が繋がっている。企業や学校の方とも顔が繋がっている、その町の状況というものをよく知ってる人材が中核になって住民の方々を巻き込みながら、地域の皆で一緒になってより良い町を造っていくんだという意識が少しずつ出ていくことによって、その町になくってはならないクラブに育っていくのではないかな。そんなふうに思っています。

太田さんのこの発表とまたお二方、そして山下さんのご発表なども含めて、スポーツを通じた地域活性化ということでまた後程まとめてコメントはさせていただきたいと思いますが、総合型クラブというものに関してだけお話しさせていただくと、生涯を通してスポーツを楽しむことができる理念と組織構造を持ったものだという考え方がなかなか定着していかない部分はあります。つまり、学校の部活等のクラブ、主婦の方がバドミントンをサークルで行っているのもクラブ、サッカーチームもクラブ。我が国ではまだ人の集

まりをクラブという大まかな呼び方をしてしまう傾向がありますので、1度この総合型クラブが生涯スポーツを身近なところで実践する社会的な装置としてどう地域に根付いていくかというようなことも、後程行政とか学校とか企業との関わりも含めてまたコメントをさせていただければと思っております。

NPO法人SCC

スポーツ・コミュニケーション・サークル



NPO法人SCC 法人概要

スポーツ・コミュニケーション・サークル

スタッフ：常勤有給 3名(理事長・CM・SM)

事務パート有給 2名

コーチングスタッフ有給 25名

理念：「スポーツは、Like・Love・Life」



自己紹介

・NPO法人SCC

理事長 太田敬介

・昭和47年5月13日生まれ

・福岡県久留米市出身

・中央大学陸上競技部

～城山観光陸上競技部

・専門種目：陸上競技短距離

100m自己最高記録：10秒46

・主な競技成績

全日本グランプリファイナル総合3位(1993年)

全日本実業団対学生対抗100m優勝(1992年)

ナイキシンガポールオープン100m6位(1997年)



事業内容

①総合型地域スポーツクラブ運営事業

会員数：690名

種目数：4種目

1)陸上競技

総合型陸上競技クラブ

ジュニア陸上競技スクール

ランニング倶楽部

2)サッカー

3)健康体操

4)幼児体操

会費：個人会員 3,150円/月

家族会員 6,300円/月

NPO法人SCC 法人概要

スポーツ・コミュニケーション・サークル

事務局：鹿児島県鹿児島市

活動開始：平成12年7月

NPO法人化：平成13年5月

活動内容：鹿児島市を拠点する

NPO法人の総合型地域スポーツクラブ



事業内容

②スポーツイベント開催事業

・50mダッシュ王選手権

・小学生！夏休みかけっこ塾

・いぶすき菜の花マラソン挑戦講座

・小学生！冬のマラソン教室

・ノルディックウォーキング

・ランニングクリニック

・駅伝大会

事業内容

③スポーツ指導者派遣事業

- ・学校
- ・部活動
- ・個人指導
- ・家庭教育学級
- ・ランニング(ウォーキング)イベント

事業内容

④その他

- ・桜島錦江湾横断遠泳大会事務局
- ・拠点クラブ事業(文部科学省委託)

NPO法人SCC

スポーツ・コミュニケーション・サークル

